

**製品名: eIF3ζ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10380**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	64kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EIF3D
別名	EIF3D; EIF3S7; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit D; eIF3d; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit 7; eIF-3-zeta; eIF3 p66
遺伝子 ID	8664.0
SwissProt ID	O15371
免疫原	抗血清はヒト EIF3D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

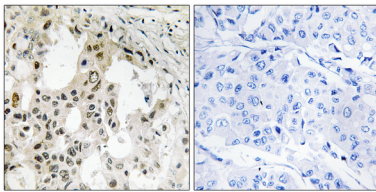
**背景**

真核生物翻訳開始因子 3 (eIF3) は、eIF の中で最大のタンパク質であり、少なくとも 10 個の異なるサブユニットからなる多タンパ

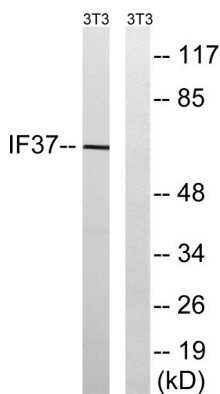
ク質複合体です。この複合体は 40S リボソームに結合し、40S リボソームサブユニットと 60S リボソームサブユニットを分離した状態に維持するのに役立ちます。また、eIF2/GTP/メチオニル tRNA の三元複合体と相互作用し、mRNA 結合を促進することで、40S 開始複合体の形成にも関与していると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、eIF3 複合体の主要な RNA 結合サブユニットです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 真核生物翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素であり、タンパク質合成の開始におけるいくつかの段階に必要です。eIF-3 複合体は 40S リボソームと会合し、eIF-1、eIF-1A、eIF-2:GTP:メチオニル tRNAi、および eIF-5 のリクルートメントを促進して 43S 開始前複合体 (43S PIC) を形成します。eIF-3 複合体は、43S PIC への mRNA のリクルートメントと、AUG 認識のための mRNA のスキャンを促進します。eIF-3 複合体は、終結後リボソーム複合体の分解とリサイクルにも必要であり、その後、開始前の 40S および 60S リボソームサブユニットの未熟な結合を防ぎます。、mass spectrometry: PubMed:17322308,mass spectrometry: PubMed:18599441,PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性:eIF-3 サブユニット D ファミリーに属します。、サブユニット:真核生物の翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素で、EIF3A、EIF3B、EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3F、EIF3G、EIF3H、EIF3I、EIF3J、EIF3K、EIF3L、および EIF3M の 13 個のサブユニットで構成されています。eIF-3 複合体は 3 つの安定モジュールから構成されていると考えられます。モジュール A は EIF3A、EIF3B、EIF3G、EIF3I から構成され、モジュール B は EIF3F、EIF3H、EIF3M から構成され、モジュール C は EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3K、EIF3L から構成されます。モジュール C の EIF3C は、モジュール A の EIF3B とモジュール B の EIF3H に結合し、3 つのモジュールを連結します。EIF3J は、EIF3B を介して eIF-3 複合体に結合する不安定なサブユニットです。eIF-3 複合体は、栄養枯渇条件下で RPS6KB1 と相互作用します。マイトジェン刺激は、FRAP1 と RAPTOR からなる複合体の結合と活性化を導き、RPS6KB1 のリン酸化と遊離、そして EIF4B と eIF-3 の結合を引き起こします。

## 研究分野

## 画像データ



EIF3D 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



EIF3D 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。